

平成18年度 高冷地水稻生育速報(第8報)

岐阜県中山間農業研究所

1. 生育概況(7月25日)

品種名	年度	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉色		葉 齡
				葉色板	SPAD値	
ひとめぼれ	本年	74.2 (97%)	566 (114%)	5.1 (+0.9)	38.7 (+4.5)	10.8 (-0.7)
	前年	70.7	460	3.2	29.5	11.9
	平年	76.8	497	4.2	34.2	11.5
コシヒカリ	本年	79.1 (95%)	513 (104%)	4.9 (+0.9)	37.0 (+2.8)	11.2 (-0.6)
	前年	81.6	451	3.3	30.9	11.7
	平年	83.2	495	4.0	34.2	11.8
たかやまもち	本年	82.3 (103%)	508 (116%)	5.6 (+0.7)	45.1 (+7.1)	10.7 (-1.3)
	前年	72.5	391	4.3	36.0	12.4
	平年	79.6	438	4.9	38.0	12.0
ひだほまれ	本年	81.7 (97%)	340 (97%)	5.4 (+0.9)	40.4 (+4.1)	11.6 (-0.7)
	前年	84.4	371	3.9	34.4	13.1
	平年	84.3	350	4.5	36.3	12.3

栽培条件: 移植5月17日 栽植密度22.2株/m² 1株4本稚苗移植 基肥N=0.5kg/a

平年値: 過去5年間の平均値

()内の数値は対平年値

2. 生育状況と当面の管理

1) 生育状況

草丈は、「コシヒカリ」で平年より短めではあるが、他の品種ではいずれもほぼ平年並みとなった。

茎数は、「ひだほまれ」、「コシヒカリ」で平年並み、「ひとめぼれ」及び「たかやまもち」では平年より多くなっている。

葉色は、穂肥を施用したために濃くなっている。葉色板、SPAD値とも平年より値が大きい。

葉齢は、いずれの品種も平年より遅れている。出穂時の葉数は、平年より1枚少ないと考えられる。

2) 病害虫等の発生状況

「イネツトムシ」、「イネアオムシ」、「セジロウンカ(夏ウンカ)」等が見られる。斑点米の原因となるカメムシ類も本田内で見られるようになった。

「ひとめぼれ」、「コシヒカリ」等の「イモチ病」に弱い品種では「葉いもち」が発生している。出穂間近となっているので、「穂いもち」への移行に注意する。

3) 今後の管理

5月17日植「たかやまもち」が出穂し始めた(「走り穂」がでた)。出穂期は平年より1~2日早くなりそうである。出穂前後は、田面が乾くことのないように湛水状態で管理する。

「葉いもち」が蔓延している(7月25日県下全域に注意報が発令された)ので、「コシヒカリ」、「ひとめぼれ」など「イモチ病」に弱い品種や常発田では、発生状況に留意し「穂いもち」にならないよう努める。斑点米の発生を防ぐため、出穂後のカメムシの防除に努める。

<参考> 前回調査時(7月18日)の生育概況

品種名	年度	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉色		葉齡
				葉色板	SPAD値	
ひとめぼれ	本年	69.8 (100%)	584 (111%)	4.4 (-0.2)	36.0 (+0.5)	10.3 (-0.4)
	前年	66.5	566	3.8	33.2	11.3
	平年	69.8	526	4.6	35.5	10.7
コシヒカリ	本年	71.4 (94%)	533 (101%)	4.5 (+0.1)	35.8 (+0.4)	10.4 (-0.5)
	前年	75.0	513	4.0	36.5	10.9
	平年	75.9	526	4.4	35.4	10.9
たかやまもち	本年	73.9 (104%)	533 (116%)	5.6 (+0.4)	41.8 (+3.2)	10.4 (-0.9)
	前年	70.9	442	4.9	39.5	11.6
	平年	71.1	458	5.2	38.6	11.3
ひだほまれ	本年	74.4 (96%)	373 (95%)	4.7 (+0.0)	35.9 (+0.0)	11.1 (-0.4)
	前年	80.3	473	4.2	35.2	12.1
	平年	77.5	391	4.7	35.9	11.5

岐阜県中山間農業研究所
 TEL 0577-73-2029
 FAX 0577-73-2751
<http://www.cc.rd.pref.gifu.jp/k-agri/>